



第188号

西光

〒671-0101 姫路市大塩町229

浄土宗西山禅林寺派

雲龍山 西光寺 住職 大塚靈閑

Tel 079-254-0351 Fax 079-254-4142

令和3年11月5日発行

靈閑だより

気になる…

「永代」とは何なのか？

今更聞けない…

仏具の名前 ～楽器編～

日常に溶け込む仏教語「劫」 ～浄土宗西山勤行式から～

門前掲示板 令和4年度年忌表 ご逝去の報 新役員のご案内

お十夜法要のご案内

除夜会・修正会のご案内

霊閑だより

徒然なるままに...

とりあえず『乾杯』

「かたい絆に思いをよせて...時には傷つき 時には喜び...あれからどれくらいたったのだろう...」ふと長瀬剛の『乾杯』が頭をよぎりました。小室圭さんと眞子さまの笑顔の婚約内定会見から四年。今回の笑顔なき結婚会見。赤の他人がとやかくいう問題ではなからうが、皇族とはこうあるべきというステレオタイプに苦しめられながら何とか旅立ちの日を迎えられた。声を小にして心の中で『乾杯』を歌うのであります。「ふり返らずにそのまま行けばよい 風に吹かれても雨に打たれても 信じた愛に背を向けるな 乾杯 今君は人生の大きな大きな舞台に立ち 遙か長い道のりを歩き始めた 君に幸せあれ」

他人に語らぬだけ

以前、門前掲示板に次のような言葉を書きました。「他人は誰でも心の中に 他人には言えぬ痛みを持っている 憂いや悲しみが無いのではない 他人に語らぬだけなのだ」。そういうわけで私も小室さんと眞子さまに仏教詩人の坂村眞民さかむらしんみんさんの「かなしみはいつも」という詩を送りたいと思うのであります（えらそうに...）。

かなしみは みんな書いてはならない
かなしみは みんな話してはならない
かなしみは わたしたちを強くする根
かなしみは わたしたちを支えている幹
かなしみは わたしたちを美しくする花
かなしみは いつも枯らしてはならない
かなしみは いつもた湛たえていなくてはならない
かなしみは いつも嘔みしめていなくてはならない

これも私 それも私

『般若心経』では「空」「不」「無」という言葉が度々でてきますが、何もかも実体がないのだということは、私たち人間もそうです。眞子さまというお方はこういう方だと特定できません。「気の強い方だな」と思ってもそれは、私たちが勝手に思っているだけで、眞子さまのほんの一面でしかありません。そう振舞っているだけかもしれない。これは芸能人によくある悩みの一つです。テレビでは陽気でよく喋る人が普段は無口であったりもします。裏表がないと思われる人でも、実は裏も表もそう振舞っているだけかもしれない。では全てが偽りの姿なのかということではなく、表の陽気さも裏の無口もどちらもその人の姿です。世間というところの自己PRなんていうのは「私をこうみてください」という自分の願望でしかありません。

知らないものは知らない

その昔、小泉総理が国会答弁で「知らないものは知らない。論語にありますよ、知らざるを知らずと為す。是れ知るなり」と開き直って、質問者の菅直人を呆れさせました。知らないでは済まされない問題も多々ありますが、自分自身は「知らないものは知らない」のです。自己診断や自分探しといった言葉がありますが、日々変わっていく自分自身のことなんて分かりようがありません。このすべてのものは変わっていくということ。「(諸行)無常」といいます。自分でも自分のことがよく分からないのに、分かろうとするから苦しむのかもしれない。これこそが苦しみの原因である「執着」です。自分はどういう人間なのかと決めつける必要はないように思います。ましてや他人が自分の思うように自分を見てくれるわけがありません。逆に他人が思い描くイメージの姿通りに振る舞おうとするなんてのは窮屈です。もっと楽にいきましよう。

はて何の用事であったか

杉山平一すぎやまへいちさんの「生」という詩をご紹介します。

ものをとりに部屋へ入って
何をとりきたかを忘れて
もどることがある
もどる途中でハタと
思い出すことがあるが
そのときはすばらしい
身体がさきにこの世へ出てきてしまっ
たのである
その用事は何であったか
いつの日か思い当たるときのある人は
幸福である
思い出せぬまま
僕はすくすくあの世へもどる

しかしアンパンマンは知っている

アンパンマンは「何のために生まれて、何をして生きるのか。こたえられないなんて、そんなのはいやだ！」と言っています。「じゃお前はその答えを知っているのか？」と思ったら、「そうだ うれしいんだ 生きる よろこび」と歌の最初で既に仰せでした。敬服いたします。そうでした「生きるよろこび」でした。これに少し仏教のエッセンスを加えるのであれば、「生かされているよろこび」でしょう。皆アンパンマンに守られ、生かされているのです。いや、ありとあらゆるものがあなたを生かしているのです。小さな喜びを毎日の活力に。ではまた。



気になる…

「永代」^{えいたい}とは何なのか？

昨今、永代供養についての相談が多くなりました。永代供養というと世間的には「今後お祀りする者がおらず、月々のお参りや法事、遺骨の管理も含めて、供養の一切を全てお寺にお願いしてお任せすること」と認識されているように思います。しかし「永代供養にする」＝「一切のお祀りをしない」というのはわりと新しい考え方です。

そもそも永代^{えいたい}というのは永代祀堂^{しどうきやう}経（略して永代経）といます。仏教の教えが未来永続的に途切れることなく伝わっていきますように、そしてお寺^{れい}が永代にわたって存続する限り、故人（永代霊位^{れいゐ}）の供養^{こんし}がなされますようにという願いを込めて、懇志を納めるものでした。そしてその故人のために、特別に供養の日を設けて、忌日やお盆・彼岸などの折に、戒名を個別に読み上げて供養をして参りますというのが本来の「永代」の主旨です。この主旨に則り、特別に設ける供養の日を、当寺の場合は、毎年お盆の八月七日に勤める永代施餓鬼会^{えいたいせがきえ}としています。永代施餓鬼会では永代をあげて頂いた家の方には、ご案内を差し上げていますが、ご家族^{えいごう}の方がお参りにならなくとも、永代霊位の戒名をお読みしてご回向^{えいごう}させて頂いております。

※尚「永代供養」という言葉の定義は曖昧で、未長く供養がなされる点は変わりありませんが、実際の取り扱いはお寺によって異なります。

「永代を納めたのに、なぜお参りするのか」と思われるかもしれませんが、かつては必ず家の継承者がいたために、永代を納めるということは、後をみてくれる者がいるいないに左右されるものではありませんでした。今は本来の永代の主旨と新しい考え



方の両方が「永代」の意味に含まれるようになってきたため、ややこしいのですが、本来の意味からすると仏壇や墓の守りが「永代」に縛られるものではありません。永代供養にしたけれど、墓は残して自分の元気なうちはお墓参りくらいはしたい、法事だけはしたいという形は何の問題もありません。一方であなたの家は継承者がいないのだから永代を納めなさいとお寺が強制するものでもありません。

永代を納める意義は、自分が亡くなり、家が途絶えようとも供養が続けられるという点です。昔と違い今では、自分の亡き後を託せる家族がいない、もしくは子や孫の負担を少しでも軽くしてあげたいとの思いで生前永代（自分の生きている間に自分の亡き後の供養をお願いしておく）を納めておくというケースもあります。

これからも様々な供養の形が出てくるでしょう。選択肢がある分どうすればよいのか分からないという悩みもおありかと思います。自分自身の心の持ちようも歳とともに変わっていきます。いつでもご相談下さい。一緒に考えて参りましょう。

今更聞けない…

仏具の名前 ～楽器編～

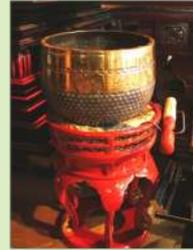
「ほら、あれやがな、カンカンいわすやつ」

「あのチーンいわすやつ」

「お葬式の時にジャンジャ〜ンとならすやつ」

で十分伝わるのですが、日頃のお参りの際に見かける仏具、その中でもこの度は鳴り物といわれる楽器について名前を確認しておきましょう。

《番外編》 鑿（きん）または磬（けい）



ゴ〜ンのやつです。鈴のジャンボサイズのもので、お寺の本堂などで使います。鑿子（きんす、けいす）とよぶことも。音に奥行きがあり荘厳な雰囲気を出します。



鈴（りん）

チーンのやつです。お鈴（おりん）とも。読経の開始や終了、また区切りなど合図として鳴らします。お経が始まると喋れないので、全てはこの鈴で合図します。



鈸（はち）

ジャンジャ〜ンのやつです。シンバルの仏具版と思って頂ければと。葬儀や施餓鬼会などに使用します。これが入るとより一層儀式のアクセントになります（もちろん意味はあります。それはまた追々）

鉦鈸（しょうご）

カンカンのやつです。伏鉦（ふせがね）ともいいます。主にナムアマダブツとお念仏をあげる際に使います。御詠歌をあげる際にも欠かせません。木魚同様、調子を合わせる楽器です。



木魚（もくぎょ）

ポクポクのやつです。読経の際に調子をとります。一定のリズムでたたかないと皆のお経がずれます。長いお経でも一定のリズムでたたき続けるのが坊さん修行の最初の関門です。



鏡（にょう）

銅鑼（どら）ともいいます。鏡鈸（にょうはち）といって上記鈸とセットで使います。葬儀や施餓鬼会などに使用します。英語にするとプロレスのゴングです。どら焼きはこの銅鑼に形が似ているところからきている説が有力です。

↑ 普段はこの3点セットを使います。

《番外編》 戒尺（かいしゃく）



普段はあまり登場しませんが、役割は木魚と同じです。読経の際に調子をとります。携帯に便利です。木魚で物足りない方、これをたたけると上級者です。練習してみたい方、お貸しします。

日常に溶け込む仏教語

浄土宗西山勤行式から

【劫】

こう

無上甚深微妙法
百千万劫難遭遇
我今見聞得受持
願解如来真實義

(開經偈)

この上なく尊く深遠な
仏の教えには、どれだけ
の時間をかけても出逢
うことが難しい。しかし、
今幸いにもその機会が
得られた。願わくば仏
の真實の教えを自分の
ものになりたいと思う。

我於無量劫
不為大施主
普濟諸貧苦
誓不成正覺

(肆誓偈)

私は永遠に大いなる
功徳を施す者となって、
貧しく苦しむ人々を救
うことができないならば
さとりを得て仏とならな
いことを誓う。

「劫」という漢字字体はあま
り馴染みがないかもしれませ
んが、例えば「億劫」とか「未
永劫」とか…すいません、これ
以上思いつきません。

さて、「劫」はとてつもなく
長い時間をいいます。あるお話
では、山ほどの大きな巨石に、
百年に一度天女が舞い降り、衣
の袖でその石の表面をさらりと
触れ、ついにその石が摩耗して
なくなってしまうのかかる時
間とあります。また別のお話で
は、とんでもなく大きなお城を
芥子の粒で満たし、百年に一
度、一粒ずつ取り出し、その芥
子の粒が全て無くなるまでの時
間とあります。それが一劫で
す。例えば「億劫」は一劫の一

億倍ですか
ら、気が進ま
ない、めんど
くさいレベル
は相当です。



数字の単位

で一、十、百、千、万、億、兆
の先、京や垓など言える方は通
です。更に進めると、最後の方
には恒河沙、阿僧祇、那由他、
不可思議、無量大数と怪しげな
漢字が続きます。ここまでくれ
ば相当マニアックです。これは
全て仏教用語、つまりお経に出
てくる言葉です。例えば恒河沙
は恒河がインドのガンジス河の
ことで、沙は砂ですから、ガン
ジス河にある砂の数を表しま
す。これを一つ一つ数えるのは

途方もなく大変です。それだけ
大きな数ということなんでしょ
う。お経においては、仏のス
ケールの大きさを表す表現とし
て、万や億など生易しい単位で
はなく、オラオラすごいやろと
言わんばかりに、こういった単
位が使われます。例えば、『観
無量寿經』というお経による
と、阿弥陀仏の身長は六十万億
那由他恒河沙由旬（由旬は古代
インドの距離の単位で牛車の一
日の旅程とされ、諸説ありま
す。もう人知を超えたレベル
です。その計り知ることができ
ないことを「無量」といいま
す。そうです無量大数の無量で
す。



浄土宗西山勤行式

門前掲示板より

十月

どうにもならぬもの

他人と過去

どうにでもなるもの

自分と未来

十一月

他人を許せば

楽になる

愚痴を言わねば

楽になる

令和四年度年忌表

来年は左記の年にお亡くなりになられた方の年忌法要（法事）があたつてきます。土・日曜日の午前中をご希望の方は、早めに日時をご予約下さい。尚、年忌があたつておられる方には別紙にてご案内致します。

一周忌	令和三年
三回忌	令和二年
七回忌	平成二十八年
十三回忌	平成二十二年
十七回忌	平成十八年
二十五回忌	平成十年
三十三回忌	平成二年
五十回忌	昭和四十八年

新役員のご案内

【北脇丁世話人】

福間博子さん

なにかとお世話になりますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。北脇丁の皆様にも合わせてお願い致します。

ご逝去の報

福泊	岡本正義さん	72歳	令和3年9月7日寂
八家	木庭咲子さん	89歳	令和3年9月17日寂
曾根	大谷純子さん	88歳	令和3年9月27日寂
須磨	生嶋文子さん	95歳	令和3年9月28日寂
中ノ丁	生嶋そとゑさん	101歳	令和3年10月22日寂
加古川	神崎則明さん	65歳	令和3年10月26日寂

じゅうや

お十夜法要

コロナの勢いも幾分落ち着いて参りました。まだ予断は許さない状況ではございますが、感染対策に留意しつつ、今年度のお十夜をお勤めさせていただきます。

お参りの際には引き続きマスクの着用・手の消毒等にご協力よろしくお願い致します。寒い時期ではございますが、適宜換気も致しますので、防寒対策もあわせてお願いいたします。

長時間の滞在にならぬよう、少しずつ時間を短縮し、15時頃には終了するようにしたいと思います。

またお十夜名物の豆ご飯につきましては、本年も提供を控えさせていただきます。予めご了承下さい。

何かとご不便をおかけいたしますが、今年最後のお十夜法要にお参り下されば幸いに存じます。

11月21日(日)

13時～ お十夜のお勤め

13時40分～ お説教

説教師

たつの市 恩徳寺住職
猪澤良秀 師

14時30分～ 塔婆回向

15時 終了予定

この度は、塔婆回向をいたします。ご先祖の供養をご希望の方は、当日世話人席にてお申込み下さい(1霊300円)。戒名(〇〇家先祖代々、俗名も可)と施主(お申込みの方のお名前)を予めメモしてお持ち頂くとスムーズです。お持ちの方は西国三十三ヶ所の御詠歌の本をお持ちください。

じょやえ しゅしやうえ

除夜会・修正会

(除夜の鐘) (元旦のお勤め)

12月31日(大晦日)

午後11時40分頃～開門

午前1時頃 閉門